

第3章

地球市民学探究講座

大 矢 美 香

1. 目 標

本講座も生命科学探究講座と同様に、学校特設科目であるSLPⅡとの連関を考慮して設計した。SLPⅡの地球市民学は高校二次次に単位履修する。本講座はこの内容を更に発展させ、大学の学びへの接続を目指した。本講座の目標は、世界のグローバル化に伴うさまざまな問題や課題について生徒に認識させ、地球市民としてどのような役割が期待されるのかを生徒自ら発見することである。そのために、客観的な観点から様々な知識を統合し、最終的には地球市民として個人のレベルで何ができるかを考えさせる。これらの目標から、生徒に身につけさせたい学びの力は、人文・社会科学的な課題の発見と課題解決力、社会科学における論理的思考力、科学的な探究力（データの解釈・分析・批評）、自覚的なキャリア意識の形成である。

2. 学習方法

本講座の特色は、グループまたは集団課題を積極的に取り入れることで、講義で学んだことを、ワーク・アクティビティを通じて実践的に、また自主的に応用する力を培う。アクティビティの一例として、集団討議やグループ・シミュレーションなどが実施された。

3. 実践内容

第一章の3. 学習内容参照

4. 成果と課題

次の表は1回毎の授業後に生徒へ実施したアンケートの集計である。「大変そう思う」を1、「だいたいそう思う」を2、「どちらともいえない」を3、「あまりそう思わない」を4として集計したところ、以下のような結果を得た。

質問1 今日の授業内容はよく理解できたか？

(%)	1	2	3	4
2014	41.5	53.4	4.5	0.6
2013	26.1	64.0	7.4	2.5

質問2 今日の授業の内容に興味をもてましたか？

(%)	1	2	3	4
2014	53.4	38.6	5.1	2.9
2013	45.2	46.5	6.1	2.2

質問3 何か新しいことを発見することができましたか？

(%)	1	2	3	4
2014	59.1	34.1	4.6	2.2
2013	45.7	46.6	6.8	0.9

質問4 授業後に自分で調べてみたいという気持ちが生れましたか？

(%)	1	2	3	4
2014	24.5	50.9	19.6	5.0
2013	26.5	53.1	15.38	4.6

質問5 授業に意欲的に取り組むことができましたか、あるいは取り組むことができませんでしたか？

(%)	1	2	3	4
2014	28.2	51.4	12.3	8.1
2013	33.3	53.3	11.2	2.2

すべての設問に対して「大変そう思う」と「大体そう思う」と答えた生徒の割合は全体の8割以上を占めている。このことは、生命科学探究講座と同様に、授業内容に対する生徒の高い意欲と興味関心が読み取ることができる。自由筆記の項目からは、「グループワークが印象的だった。」「自分の意見をたくさん言うことができた。」「いろいろな人の意見を聞くことができ、きちんと聞いて納得することができた良い機会だった。」「できるだけ外部の情報にとらわれず、自分の眼で個人を見ていくことが大切だと思った。」「○か×かで答えを出そうとするのではなく、根拠を持って考えていくことが大事だということがこれからの勉強、生活に役立つと思った。」などのように、グループワークでの意見交換は、自分の考えを深めるよいきっかけとなっているようである。

地球市民学という通常の授業からはイメージしにくい学問について、この講座を受けることで、普段の授業では得られない知識を得ることができ、さまざまな方面からのアプローチを通して、自分たちの生きている「地球」を多角的に見ることができたようである。さらに、そこから自分の考えを深めることで、日々の生活や学習への取り組みにも変化がおこることを期待したい。